

図書館だより **SAIKU らい**

作新学院大学·作新学院大学女子短期大学部 図書館

おかげさまで 120号

足は現場、頭は読書

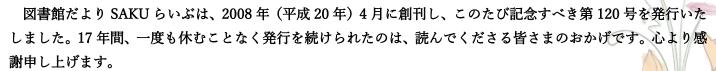
作新学院大学女子短期大学部 幼児教育科 准教授 矢野善教

私は保育園や幼稚園、認定こども園、小・中学校、高等学校、児童福祉施設、障害児者支援施設など多様な現場との繋がりを通じて、「現場が最先端」という意識で、臨床の場を一番大切にしてきました。教室や保育室では、空気や雰囲気があっという間に変わり、昨日の正解が今日は通用しないこともあります。だからこそ、私は<u>観察→仮説→試す→振り返る</u>、という小さなサイクルをコツコツ回しています。うまくいかなかった日は、間違った仮説を一つ手放せた日だと考えます。

そして、本を読むことが**実践**を強くします。本は先人の経験を**ぎゅっと詰め込んだ地図**です。経験に<u>理論</u>という言葉が乗ると、**偶然の成功が再現できる技術**に変わります。授業や実習では、①気づきを簡単にメモする、②週に一冊"原理がわかる本"を読む(一部でも OK!)、③翌週に一つだけ試す(チャレンジ!)、④仲間と振り返る、の 4 つを意識してください。例えば、子どもに対して「指示は 3 語」「選択肢は 2 つ」「うまくできたらすぐ言葉でほめる」といった具体案からで十分です。

足で現場を歩き、頭を読書で鍛え、手で記録し、口で対話する。この積み重ねが、皆さんの実践を確実なものに近付けます。迷ったときは原理に戻り、迷わなくても記録に戻ってください。皆さんの一歩一歩が、支援を受ける人の明日を少し明るくします。私も試行錯誤しながら学び続けます。できることから始めましょう。今日の授業やアルバイト、ボランティアの場でも試せます。まずは一つだけ行動を決め、帰り道のメモから始めてください。

☆ 第120号発行に際して ☆



振り返れば、本学図書館にもさまざまな出来事がありました。

中でも忘れがたいのは、2011年の東日本大震災と、2020年からのコロナ禍です。震災では、天井の崩落など大きな被害を受けましたが、春休み中だったこともあり利用者にけがはなく、幸いでした。建物だけでなく、私たちは心にも深い傷を負いましたが、復旧工事を経て、2012年3月30日にリニューアルオープンを迎えることができました。

コロナ禍では、大学の臨時休講に伴い図書館も休館となり、先の見えない不安な日々が続きました。飛沫防止 フィルムや除菌ボックスの設置、閲覧席の間隔調整、検温・消毒など、工夫を重ねながら再開した日は、今でも 鮮明に思い出されます。

こうして歩んできた年月を振り返ると、「当たり前の生活」がどれほど尊いものか、改めて感じます。

図書館で読書をする。調べ物をする。友人と語らう。そんな当たり前で心穏やかに過ごすことが、いつでもいつまでもできるようにと心から願います。

これからも図書館は、学生の皆さんの学びを支える場として、より良いサービスを提供してまいります。 そして SAKU らいぶも、次なる節目「第 200 号」を目指して発行を続けていきます。どうぞご期待ください。



2011年3月 東日本大震災により図書館は甚大な被害を受けました。



コロナ禍以降、除菌BOXを使っています。本の表紙を除菌します。



仮図書館にも楽しい本がどんどん増えています。ぜひご利用ください。

開館カレンダー11月

		PRAISE IF	1				
	B	月	火	水	木	金	土
4							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	H	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23 30	24	25	26	27	28	29

9:00~18:00

LRT に乗って作士へ行ってみよう

清陵高校前(作新大・作新短大前)下車すぐ

作う図書館はどなたでもご利用いただけます

TEL: 028-670-3652

URL: https://www.sakushin-u.ac.ip/library/

